



平成22年
10.15
第67号

おばなざわ 市議会だより

平成21年度一般会計決算など30議案を可決



新しい「よつば保育園」の運動会

7月臨時会 9月定例会	補正予算・議案の審議	2	ページ
	決算特別委員会	3	ページ
	一般質問	6	ページ
	広域組合議会	9	ページ
	請願・意見書	11	ページ
	分科会委員長報告	5	ページ
	可決された議案	10	ページ
	私のひとこと・あとがき	12	ページ



平成21年度決算を認定

一般会計 109億2,410万円
 特別会計歳出 55億8,733万円
 歳出総額 165億1,143万円

平成22年度
 一般会計補正予算 1億6,509万円追加
 一般会計予算総額 100億2,977万円

7月臨時会 2回開催 一般会計補正予算（第3、4号）302万円追加

質 昨年のパソコンの購入は、市外の業者からシステム上購入しましたが、今後は、市内業者より購入してはどうですか。
答 基本的には市内から購入できるようにしていますが購入できない特殊な物もあります。今後市内から最優先して購入する考えです。
質 市内商店街は今疲弊しています。物品納入で落札価格が低すぎて利益が出ないこともあるので十分考慮してはどうですか。

9月定例会

平成22年9月定例会が9月1日から9月15日までの15日間の会期で開催されました。加藤市長から市政の概況報告と平成21年度一般会計及び各特別会計決算、平成22年度一般会計補正予算等5案件ほか、尾花沢市特別職の給与に関する条例改正等6案件、人事案4案件計30案件が上程され提案理由の説明があり、平成22年度補正予算5議案は1日に審議され原案どおり可決されました。また請願3案件については常任委員会に付託し、審査されました。3日6日の一般質問には、7名の議員が市政全般について市当局の考えを質しました。7日から14日まで付託された平成21年度決算議案について全議員で構成する決算特別委員会を設置し、総括質疑を行い、さらに各分科会を設置して慎重に審査し、すべての議案は原案どおり認定されました。
 最終日の15日には本会議が開催され、議案案7案件が追加上程され審議の結果いずれも原案どおり可決されました。
 また、7月に臨時会が2回開催されました。7月16日は一般会計補正予算（第3号）とロータリー除雪車の購入契約と尾花沢小学校校舎耐震改修及び渡り廊下改築工事請負契約の締結について上程され、審議の結果可決しました。
 また、7月26日は一般会計補正予算（第4号）と故星川剛元市長に名誉市民の称号を贈る議案が上程され、それぞれ審議の結果原案どおり可決されました。

答 共通物品については、3、4社の見積もり合わせをやっていますが今後十分検討します。
質 国土調査で山林調査はいつ頃から入る予定ですか。
答 本市の面積の40%は登記が完了しています。宅地と農地で寺町・銀山・取上地区の一部が残っている状況にあり、また林地についても早期着手を目指しています。
質 山岳遭難対策寄付金は、先日発生した銀山の行方不明者捜索費に使うことができませんか。また、捜索に当たった消防団員はボランティアですか。

7月臨時会

答 この度の件は、行方不明者捜索の依頼があった家族の理由者負担となります。今回の条例は別なものと考えます。基金条例は、昭和55年、母袋の方と天童の方の2名からの寄付を定期預金していましたが、このたび基金とするものです。
質 ふるさと雇用再生基金を利用し、おばねのうまいもの販売促進を委託するということですが、その内容はどのようになる



のですか。

答 農産物の直販とネット販売等の仕組みを構築するために雇用機会を創造するものです。期間は3月31日までです。

質 うまいもの農産物とは具体的に何ですか。販売はどのようにしていくのですか。

答 現在はスイカを想定しています。その他、米や尾花沢の農産物全般を直販する仕組み作りを予定しています。

質 ローターリー除雪車購入の入札が行われましたが、予定価格と最低制限価格、また耐用年数はどうですか。

答 予定価格は2千890万円で最低制限価格は設けていません。耐用年数と使用時間はすでに過ぎていきます。

質 除雪車の台数は何台ありますか。使用後の管理方法が県と違うのではと聞いていますが、どう管理していますか。

答 ローターリー車が16台、ドザーが4台、全部で20台あります。また、メンテナンスについては使用後、業者に修繕等の委託をしています。管理方法は今後、雨ざらしにならない所に保管するよう考えていきます。

質 尾花沢小学校舎耐震改修及び渡り廊下改築工事の予定価格と最低制限価格はどうですか。また、管理設計の入札も同時に

行われたと思いますが指名業者は何社ですか。

答 最低制限価格は2億115万48円です。1社随意契約です。特殊な工法でもあり直接設計をした業者に委託すれば安全、安心、精度の高い管理が出来ることで1社随意契約で見積を徴収しました。

質 今後、すべて最低制限価格を公表するのですか。

答 現在、入札の顛末書は閲覧方式で提示していますが、今後これに加え最低制限価格も共に閲覧できるようにします。



尾花沢小学校耐震等工事

質 尾花沢小学校耐震等の工事中、子供たちはもとよりPTA及び近くの住民への安全対策の対応はどのようにしていますか。

質 今年4月に牛房野小学校が廃校になりましたが、利用方法を検討していますか。

決算特別委員会

質 配食サービス業務について25名と少ないが、実態はどのようになっていますか。

質 中国の富裕層が1千20万人から1千40万人と言われている。本市の農産物を売り込みを図ってはどうか。

答 和光園では平成16年から介護保険制度により、配食サービス業務を尾花沢市ふるさと振興公社に業務委託しています。1食あたり個人負担300円、市補助金が500円で1食800円です。平成21年度の実績は8万2千500円です。

質 オムツの支給事業の内容はどうですか。

質 森のホテル花笠大浴場の年間の利用者数と経営の内容はどうですか。民間施設からの分湯を検討してはどうか。

答 介護用品支給対象者が常時オムツが必要である高齢者で要件は市民税が非課税世帯、均等割世帯であること、要介護度3以上の方です。

答 花笠大浴場の利用者は2万5千601人で、年々減少しています。施設管理費の中で水道料と燃料代が大きくかかっています、1千万円ほどです。民間施設からの分湯については費用が5千万円ほどかかる見込みであり、今後検討する必要があると思います。

質 農業の後継者が減少していますが、農業の法人化を考えてはどうですか。

質 担い手育成を図るため儲かる農業を進めて、新規作物の取り組み等を支援していきます。農業の法人化に関しては難しい問題であり、都会の若い人の就農が増えているので、技術支援や農地の提供をしていきます。

質 今年4月に牛房野小学校が廃校になりましたが、利用方法を検討していますか。

答 牛房野小学校が135年の幕を下ろしました。校舎利用検討委員会では、牛房野小学校利用法を延沢城跡の発掘品の保管庫と発掘品調査等の利用を検討しています。

質 中国の富裕層が1千20万人から1千40万人と言われている。本市の農産物を売り込みを図ってはどうか。



質 交流人口の拡大に向けた取り組みはどうですか。

答 現在、目標とする20万人に向け、様々な事業が展開されています。尾花沢の良い素材を前面に押し出し、市長が先頭に立つて全国に発信するなど、目標達成に向けた努力をしています。
質 尾花沢市ふるさと振興公社は運営について苦慮している現状にあります。これからの対策はどう考えていますか。

答 昨年経営陣が一新し、営業成績も上昇の傾向にあります。今後とも指定管理料など本市からの持ち出しが少なくなるよう助言・指導をしていきます。

質 昨年の尾花沢産牛振興協議会の不祥事以来、公印の管理は徹底していますか。

答 全庁及び補助金交付外郭団体の通帳・印鑑等については、担当課の管理職が厳正に管理しています。

質 福祉タクシー利用助成サービスについて、実績と認定の内容を拡充してはどうですか。

答 全体の46%の利用状況です。月3枚、年間で36枚までを限度とする利用券を交付し、タクシー利用1回について基本料金の90%を助成するというサービス内容ですが、他市と比較して、これは決して高い数値ではないと思われま。このサービス

スを周知していない障害者の方も多く、利用率向上を図るためにも積極的な啓蒙を図ります。

質 本市の4大まつりのほか、そばまつり等がありますが、まつりを統合し負担の軽減を図ってはどうですか。

答 本市には、はながさYOSAKOIまつりや新そばまつりなどもあり、活気にあふれたイベントが開催されています。しかしながら、それに比例するように年々支出が増えていることも事実です。商店街の負担も大きくなっています。



友好都市岩沼市からの尾花沢祭り花笠大パレード参加

質 農業の6次産業化についての取り組み方はどうですか。

答 本市においても、米粉を加工しそれに付加価値を付ける事業等を積極的に展開し、大変好評を得ています。事業がさらに拡大できるよう、国・県から多くの予算を引き出せるような研究を継続していきます。

質 肉用牛の生産対策の考え方はどうですか。

答 今年は宮崎県で発生した口蹄疫問題などに関連して、子牛確保の重要性を思い知らされた年でした。安全・安心・安定的経営という点において関係機関が連携を図り、これからやるべき課題を検討していきます。

質 元気おばね商品券について、プレミアムを15%に増やしてはどうですか。

答 今年度は10%のプレミアムをつけ、好評を得ています。また10月に開催予定のまるだし尾花沢ふれあいまつりでは、3千500セットを販売予定です。景気の低迷により疲弊する市内の商店街を元気にする意味においても、これからも支援していきます。

質 国民健康保険会計の単年度収支が赤字になっているがなぜですか。

答 収入未済額が膨大な額になっていきます。給付基金の保有額も少なくなっていることから、給付費を下げる意味において、

健康診断事業や予防接種事業の強化をしていきます。

質 消防署大石田分署は、昭和50年に大石田町との間で委託契約が結ばれ現在に至っています。行財政改革大綱によると、平成22年度までに大石田分署は統合するとされていますがどうですか。

答 現在、村山地域7市7町の広域化案に沿って具体的な検討に入っていることにより、大石田町と協議を進め、大石田分署のあり方も含め委託契約の見直しを検討していきます。



老朽化が進む消防署大石田分署

決算特別委員会 分科会委員長報告

第一分科会

総務
文教

不動産売却収入について、市有地など不要な箇所があれば売却処分をし、少しでも財源確保に努めるよう要望しました。公用車などの売却は耐用年数、走行距離などを考慮の上決定し、市内の専門業者へ通知等公平に行っているとの説明を受け了承しました。

会計管理費に関連して一連の不祥事を受け、再発防止のため庁舎内外の全課並びに外郭団体における会計処理について、聞き取り調査と経理担当者への指導を実施したことの説明を受け了承しました。



上・下巻揃った市史

市史編纂費については待望の下巻が出版となり、販売状況を聞き、さらに多くの方に購読さ

れるようPRに努められることを要望しました。

第6次総合振興計画の策定にあたり、市の将来を見すえ、市民の意見を尊重し実行するよう要望しました。

新たな定住対策については実績を検証し、地域経済の活性化にもつながるよう要望しました。

職員研修は全職員が市独自の職員倫理の研修と、市町村職員研修所において各種専門研修へ派遣しているとの説明を受け了承しました。

付記案件はいずれも原案どおり認定すべきものと決定しました。

第二分科会

市民
厚生

路線バスと銀山線ポネットバス運行について、商工観光課や銀山温泉組合と連携を図り、さらなる利用率のアップを目指すことと、バスの広告料の収入が上がるような方策を要望しました。

納税相談専門員の増員について、収納に関するアドバイザー設置に向けて検討しているとのことと、収納率が上がるよう要望し、了承しました。

民生委員の一斉改選で、定数の減員を求められていることで



人気の高いポネットバス

市民に不利益が生じないように、その対応を要望しました。

公共下水道の普及率は、その都市の発展度合のバロメーターとなるため、より高い普及率となるよう要望しました。

消防職員の退職者が、今後7年間で24名とのことと、定員47名に不足することのないよう、計画的に採用し、市民の安心・安全を確保して欲しいと要望しました。

中央診療所の医師確保については、具体的な取り組みを要望し、また医療機器の購入は、購入計画を立て、整備しているとのことと了承しました。

付託案件はいずれも全会一致で、原案どおり認定すべきものと決定しました。

第三分科会

産業
建設

歳入のうち、市営住宅使用料の滞納の解消に向けた対策を行い、口座振替による納付を実施することを要望しました。

歳出では、遊休農地の把握と新規就農希望者への情報提供などを要望しました。また、スイカや尾花沢牛、産直施設のPR看板の設置を要望しました。

特別栽培米「つや姫」の作付け制限の緩和について、関係機関と協議するよう要望しました。有害鳥獣対策については、早期に駆除の許可を出してもらえよう関係機関に働きかけるよう要望しました。

企業誘致対策では、下水道や工業用水の確保等、インフラも含めた環境整備を検討するとの説明があり、了承しました。

橋梁の維持管理について、平成23年度より調査を行い、補修すべき箇所については、順次実施していきたいとの説明がありました。

市営住宅の地上デジタル放送対応工事については、住民に十分周知するよう、また早期実施するよう要望しました。

付記案件は、いずれも原案どおり認定すべきものと決定しました。



9月定例会

一般質問



菅野修一議員

新市長の政治姿勢を問う

質 市長は選挙戦を通して「市長報酬の大幅削減」や「定期的に各地区での市長と語る会を実施する」等を市民と公約されました。改めて加藤市長の決意を伺いたい。

市長 報酬の削減や退職手当の見直しについては、現在の市の財政状況や行政に対する市民感情、さらには民間動向などを踏まえ、政治生命をかけて市政運営に取り組むという私の決意です。また、定期的に各地区を訪問する「市長と語る会」は、直接市民の皆様の声をお聞きし、これを市政に活かすことが元氣な尾花沢づくりにつながるものと確信して実施するものです。
質 ナラ枯れが市内の里山山林で猛威をふるい、拡大しています。これをくい止める対策は、どう取られていますか。また、里山山林を活用したバイオマス発電などのプロジェクトを検討されていますか。
市長 ナラ枯れの被害木は極めて広範囲に発生しており、この対策は、現在関係機関で研究していますが、効果的な対策は見

つかっていません。里山資源のエネルギー活用については、本市の豊かな資源を有効活用し、地域の活性化につなげていくことが重要と考えています。エネルギー供給事業に参入する意欲のある企業・団体等の存在が鍵になると思いますが、採算性も含めた検討の必要があると思われま

質 農業生産額100億円突破を目指すには、地域農業の再生が不可欠です。生産した農畜産物を加工し販売まで、一貫する本市農業の6次産業化構想はどう図られていますか。
市長 6次産業化の取り組みは、農産加工センターでは漬物を中心に、JAみちのく村山では米粉を使用した新たな商品開発を委託しています。また、民間でもスイカを利用した「そうめん」や米粉を利用した「うどん」も研究されています。加工品の商品開発は、民間が主体となっており、今後、行政はそれらをバックアップしていきます。



大類好彦議員

高齢者対策と中心商店街の活性化対策について

質 シルバー人材センターは、地方自治体により随意契約ができる団体です。元気で働くことにより会員の年間の医療費は、一般の高齢者よりも3万円少ない。高齢者の健康と生きがいづくりのため、シルバーに適した就業を率先して発注してはどうですか。

市長 社会のニーズによって特殊な技能をもとめられる業務が増え、安全面で不安視される面も出てきています。また、景気低迷による失業者の増加や民間企業の仕事が減少しており、現役世代の雇用確保に努めることが緊急の課題です。
質 尾花沢の商店街は、他の市町村に比べても大変頑張っていると思いますが、しかし、景気低迷の中、以前のような賑わいが減ってきています。中心商店街の活性化対策をどのように考えていますか。

市長 プレミアム付き商品券の発行などを契機として、中心商店街活性化に向けた取り組みを強化します。商店街自体のさらなる自助努力もお願いし、賑わ

いの創出に向けた取り組みを支援します。

質 尾花沢ショッピングビル2階スペースに、市民憩いの場として利活用を計画しているようですが、市民の関心が高いよう

市長 多くの市民の皆様から、「冬期間の遊び場」や「同年代の子を持つ親の出会いの場作り」等の要望が出されていますので、交流サロン・子育て支援センター等を開設したいと考えています。

質 花笠ニュータウン分譲地の契約状況と、これまでの宣伝広告費、支払利息はいくらですか。これからの販売方法はどのように進めていきますか。

市長 花笠ニュータウンの契約状況は、37区画中21区画（56・8%）を販売契約しています。また、宣伝広告費は平成22年8月現在の総額で395万2千円、支払利息は平成21年度までで75万7千円となっています。一日も早い分譲契約に向けて、色々な情報収集を行って販売促進に向けて取り組んでいます。



9月定例会

一般質問



五十嵐佳満議員

ねじれ国会の現状に向かう
尾花沢市政について

質 自主財源は市税歳入全体の15・8%。依存財源の主である地方交付税や国・県の支出金に頼らざるを得ない状況は、今後とも大きく変わることはないと思います。国会は衆参ねじれ現象の中、加藤新市長は本市のトップとして、現政権とどう向き合っていますか。

市長 国会の動向を注視しなければなりません。仮にねじれ現象が生じて、地方は住民の福祉を最優先に考えなければなりません。あらゆる機会をとらえ、国や関係機関、県選出国会議員に対し、市の実情を訴え、本市施策の実現に向けた取り組みをしていきます。

質 第1次産業があればこそ、2次3次産業など安定した社会体系が保たれます。第1次産業が停滞することがあれば、世界経済全体が低迷の道をたどりま

市長 本市の農業を取り巻く情勢は、農業従事者の高齢化や後

継者不足、米価の低迷など、大変厳しい状況です。こうした中でも畜産農家や「尾楽田の会」のメンバーのようなスイカ耕作農家に意欲的に取り組む若者も増えており、新規就農者も5人と把握しています。新規作物の開発や栽培方法の改善、販売ルートの開拓等、やる気のある農業経営者や農業団体に対し支援を行い、尾花沢型農業の再構築を目指してまいります。

質 「人は地域の財産である」。今まさに、日本経済は地方の時代であって、再び「里の人材」が求められています。20年を見すえたビジョンをどう描いていきますか。

市長 100年後の尾花沢の姿を想像した時、元気な子ども達の笑い声がこだまする街、お年寄りが元気に憩い集う街といった姿を思い描きながら、「尾花沢に住んでよかった」と実感できるまちづくりを努めていきます。そのためにも人材育成は重要な課題であり、若者の働く場の確保と意見を積極的に施策に活かしてまいります。



山田 輝議員

尾花沢の歴史・文化をどのように売り出してゆくの

質 路線バスの赤字削減、商店街の活性化、タクシートの有効活用、高齢者の通院、買い物に便利なデマンドバス、デマンドタクシー導入を検討する考えはないですか。

市長 現行の路線バスは、高齢者の通院や買い物、更には中学生の通学や保育園への通園などとして利用されており、当面は現行での運行となりますが、総合的に検討してまいります。

質 新市長の「180人安定雇用」とは、特別養護老人ホーム職員採用55人と尾花沢雇用創造協議会の120人の雇用計画のことですか。

市長 福祉施設の整備事業については、県議時代に申請段階から関わってきました。当時から市内の方を優先に雇用していたり、積極的に取り組んでいます。

また、福祉関連施設での採用と雇用創造協議会での雇用も含まれています。農業の6次産業化の振興に伴う雇用として、バイオマス関連企業の誘致やリサイクル分野の環境産業の進展に伴う雇用も含め、任期中に180名の

雇用を創出します。
質 尾花沢市の歴史や文化を売り出していくには、古い文献・遺品の陳列ではなく、戦国歴史ブームに便乗して、最上家No.2の延沢満延を売り出し、「尾花沢市史」を漫画化するなど、体感型歴史体験の提供を考えるとどうですか。

市長 尾花沢には、歴史、文化等素晴らしい素材がたくさんあります。延沢満延については、歴史的に解明されていないことから、資料の収集と分析を重ねていきます。

質 今の時流には若い人達の自由な発想が必要です。若い人達が積極的にならざるに、参加できる場がありますか。

市長 選挙期間中、いろんな会合で多くの意見をいただきました。若い人の意見をまちづくりに活かしていくため、各集落や各種団体の会合にこちらから出向き、意見を聞く場を設けていきます。



9月定例会

一般質問



加藤克彦議員

気軽に寄れる市役所づくりを

質 セントラル自動車関連の企業誘致を図ってはどうか。

市長 宮城県大衡村と大和町の工業団地にトヨタ自動車関連の大企業が進出するため、隣接市として本社の意向を聞きながら、積極的に誘致活動を進めていきます。

質 国道37号線の通年通行を何年で実現する見通しですか。

市長 国道37号線については、尾花沢市と宮城県を結ぶ最速最短の路線として、両県の物流・観光・文化・人的交流に大きく寄与するものであり、その経済効果についても期待されています。期成同盟会でも、早期通年通行に向けて、一丸となって取り組むことが確認されています。4年後を予定としてできるだけ早い段階で通年通行ができるよう考えています。

質 市役所窓口業務の改善とマニュアルを作り職員教育を図ってはどうか。

市長 「市民はお客様である」ことを第一に考え、ワンストップサービスの拡充を図っていきます。職員教育については、質の

高い行政サービスを提供するため、特に接遇に心がけ、人に優しい新たな「接遇マニュアル」を作成し、職員研修など研さんを積み、さらなる意識改革を図っていきます。

質 放課後児童クラブを福原地区等未設置地区に早期に開設してはどうか。

市長 今後の予定は、福原地区は小学校統合年度をめぐり、玉野地区は、地域の意向等を踏まえながら設置し、常盤地区においては、「放課後子ども教室」を開設しておりますので、運営状況を見ながら対応してまいります。質 市民の健康づくりのため、市内で安心安全で雪に強く、ウォーキングのできる歩道整備を図ってはどうか。

市長 本町地区でもウォーキングをしている姿をよく見かけるようになりました。夜間は暗く危険なことですが、街路灯や防犯灯については、地区からの要望に基づき整備や助成を行っており、今後も引き続き整備に向けて取り組んでいきます。



石塚ミツ子議員

市長公約実現を

質 仕事がなく、困っている人が大勢います。雇用創出180人ほどのように図りますか。

市長 厚労省の委託事業であるパッケージ事業や、農業の6次産業化を推進し雇用創出していきます。また来春開設される特養ホームや子育て支援関係も雇用が図られるよう取り組みます。

質 中学3年生までの医療費無料化の財源の裏付けはどうですか。

市長 財源については、市の事務事業の精査による一般財源の確保と過疎債利用も検討します。質 特別養護老人ホーム待機者200名の解消をどう図りますか。

市長 入院、入所して待機しておられる方が150人前後、在宅で待機しておられる方が50人前後となっております。長期、短期合わせて80床の増床となるので50人ほどの方は解消となります。

質 施設整備が図られることは喜ばしいことですが、介護保険料が上がります。住民負担が重くならない施策はどうしますか。市長 急激な介護保険料の上昇を抑制するために、介護給付基

金を取崩し、保険料の大幅負担増を軽減したいと考えています。介護保険料の激変緩和対策の点からも第1号被保険者に大幅な負担増とならないよう配慮していきます。

質 中学生のいたましい水死事故がありました。再発防止策として、どのようなことを考えていますか。

市長 昔、水辺は子どもにとって冒険や発見の場所でした。今の教育の在り方から考えれば、自然体験活動などの豊かな体験をとおして、「生きる力」を育てていく必要があります。夏休みは、多くの体験や経験から、子どもが大きく成長できる時、自然と向き合い、生活していくこととは、危険と表裏一体であるので、危機を感じ回避できる能力を育んでいく必要があります。

このような事故が二度と起きないように、学校、家庭、地域、行政が一体となって、安全点検、危険箇所の把握と周知など、十分な対策を考え検討し、事故の未然防止の指導に努める必要があります。



9月定例会

一般質問



菅根光雄議員

中学生まで医療費の無料化を

質 市税が前年度より1億1千600万円減少しており、収入未済額が1億9千万円、不納欠損額も800万円を超えています。今後の財政を考えると収納率をどのように上げていきますか。

市長 平成21年度の市税は、世界的な景気低迷により法人市民税、個人市民税が大きく減少しました。景気は依然として厳しい状況ですが、市民の皆様のご理解を得て収納に努めていきます。質 少子化対策、生み育てやすいまちづくりを目指して、中学3年生まで医療費の無料化を早急にやるべきではないですか。市長 本年度より6年生まで所得制限なく医療費の無料化を実施し、県内13市中、天童市に次ぐ充実となっています。中学3年生までの無料化は、財源の調整をし、23年度から実施していきたい。質 女子中学生、6年生女子児童に子宮頸がんの予防ワクチンを今年度中に補正予算を組み、無償で実施すべきではないですか。市長 対象学年については検討を要するものの、実施していきたい。なお、ワクチン接種によ

り100%予防できる病気ではなく、実施にあたっては、その後の健診の必要性や性感染症に対する対応なども含め、児童・生徒や本人並びに関係者への指導と、関係機関との調整等を要します。質 市民プールの要望が多くなっています。安全安心な水遊びと高齢者の健康保持のための屋内プールを考えてはどうですか。市長 7月に開設された民間の温水プールで、小学校の水泳教室が行われています。健康づくりやリハビリのため高齢者の利用も多い。市民プールの開設には、建設費や維持管理費に多額の予算をとまいます。利用者数や今後の財政状況も考え検討が必要です。

質 山形盆地断層帯北部での地震発生の可能性が高く、大きな被害も予想されています。災害時に備える防災センターの設置を検討してはどうですか。市長 災害に備え、核となる防災センターの必要性は十分理解できます。設置は当面、消防署の機能強化を図り、今後、本庁舎建設計画とともに進めていきたい。

広域組合議会の報告

北村山公立病院組合議会

7月30日、東根市議場で第2回定例会が開催されました。議案の審議に先立ち、欠員となっていた議会運営委員会委員の選出を行い、尾花沢市議の笹原光政議員が選出されました。主な議案は、平成21年度北村山公立病院組合理算認定と病院職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び育児休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定についての2案件です。いずれも全会一致で認定及び可決されました。

患者の利用状況は、入院患者数11万3千242人で前年より4千77人の減、外来患者数は12万9千803人（1日平均534人）で前年より1万675人減となっています。常勤医師28人、眼科、皮膚科などで日本医科大学からの派遣医師が3人で、週1回の診療になるなど診療体制の縮小が余儀なくされていて、病院収益にも大きく影響しており憂慮されていますが、北村山地区の中核病院として、診療機能の効率化を図って、さらなる地域医療に貢献できるように期待されています。

北村山広域行政事務組合議会

北村山広域事務組合議会の定例会が9月30日、村山市議会議場で開催され、平成21年度一般会計決算を認定したほか、教育委員に小関正男東根市教育長を再任する人事案に同意し、閉会しました。平成21年度一般会計は歳入1億4千610万円、歳出1億3千630万円で980万円の黒字となり、平成22年度に繰り越しました。平成21年度の主な事業として▽世界天文年に合わせ北村山視聴覚教育センターで部分日食観測会を開催しました。▽学校でのコンピュータの活用を図るため各市町での講習会や同センターの土曜開館時の講座を開催しました。▽全国自作視聴覚教材コンクールで同センター社会教育専門部会が制作した「北村山伝統芸能」が入選したことなどの報告がありました。

なお、副管理者として加藤市長が就任し、さらに当組合議員の星川剛氏の死去に伴い、須貝孝議員が就任しました。



星川剛議員 逝去



星川剛議員は、7月21日入院先の山形市東北中央病院で逝去されました。

星川議員は、大正15年12月16日生まれ、慶應義塾獣医学専攻を卒業し、山形県畜産技師として農業団体に18年奉職され、その後獣医師を開業するかたわら、昭和46年7月に尾花沢市議会議員に当選されました。昭和48年10月からは山形県議会議員に当選され、昭和61年まで県政発展にご尽力いただきました。そして昭和61年から平成10年までの3期12年間に亘り、本市の市長として多くの業績を残されました。

平成15年、再度市議会議員に立候補し、当選されました。その間、市民厚生常任委員会副委員長、北村山公立病院組合議会議員、同広域行政事務組合議会議員、本市都市計画審議会委員、社会福祉法人徳良会評議

員、同尾花沢福祉会評議員等、本市福祉行政に卓越したご功績を残されました。このような輝かしい足跡に対し、8月2日挙行された星川家、尾花沢市尾花沢市議会の合同葬に先立ち、尾花沢市名誉市民賞が授与されました。

日頃より読書を愛し、物事を探究され、大所高所からの助言提言する姿勢は、正に地方自治を一筋に歩まれた政治家としての市民及び各界からの惜しまれる声が聞かれます。安らかなるご冥福をお祈り致します。

可決された議案

- 7月臨時会** (7月16日開催)
 - 議第38号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第3号)
 - 議第39号 ロータリ除雪車購入契約の締結について
 - 議第40号 尾花沢市尾花沢小学校校舎耐震改修及び渡り廊下改築工事請負契約の締結について
- 7月臨時会** (7月26日開催)
 - 議第41号 尾花沢市名誉市民の称号を贈ることについて
 - 議第42号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第4号)
- 9月定例会**
 - 認第1号 平成21年度尾花沢市一般会計歳入歳出決算認定について
 - 認第2号 平成21年度尾花沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
 - 認第3号 平成21年度尾花沢市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
 - 認第4号 平成21年度尾花沢市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
 - 認第5号 平成21年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計歳入歳出決算認定について
 - 認第6号 平成21年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
 - 認第7号 平成21年度尾花沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
 - 認第8号 平成21年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
 - 議第43号 平成22年度尾花沢市一般会計補正予算(第5号)
 - 議第44号 平成22年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 - 議第45号 平成22年度尾花沢市老人保健特別会計補正予算(第2号)
 - 議第46号 平成22年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第1号)
 - 議第47号 平成22年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第1号)
 - 議第48号 尾花沢市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について

- 議第49号 尾花沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第50号 尾花沢市教育長の勤務時間に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第51号 尾花沢市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第52号 尾花沢市山岳遭難対策基金の設置、管理及び処分に関する条例の設定について
- 議第53号 市道路線の認定及び廃止について
- 議第54号 人権擁護委員の推薦について
- 議第55号 人権擁護委員の推薦について
- 議第56号 人権擁護委員の推薦について
- 議第57号 尾花沢市監査委員の選任について

- 議案**
- 議会案第5号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について
 - 議会案第6号 私学助成予算額の増額を求める意見書の提出について
 - 議会案第7号 過剰米対策に関する意見書の提出について
 - 議会案第8号 肺炎球菌ワクチン(23価ワクチン)への公費助成に関する意見書の提出について
 - 議会案第9号 保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書の提出について
 - 議会案第10号 尾花沢市都市計画審議会委員の推薦について
 - 議会案第11号 尾花沢市都市計画審議会委員の推薦について



請願の審査結果

採択された請願

平成22年請願第7号

◎地方財政の充実・強化を求め
る意見書提出の請願

連合山形北西村山地域協議会

議長 田川 健一

平成22年請願第8号

◎過剰米対策に関する請願

みちのく村山農業協同組合

代表理事組合長 高谷 尚市

平成22年請願第9号

◎私学助成予算の充実に関する
請願

学校法人新庄学園

新庄東高等学校PTA会長

荒川 精治

採択された意見書

◎地方財政の充実・強化を求め
る意見書

2011年度の地方財政予算
全体の確保にむけて次のとおり
対策を求めます。

1. 医療、福祉分野の人材確保
をはじめとするセーフティネッ
ト対策の充実、農林水産業の再

興、環境対策など今後増大する
財政需要を的確に取り入れ、2
011年度地方財政計画・地方
交付税総額を確保すること。

2. 国・地方の税収配分5対5
を実現する税源移譲と格差是正
のための地方交付税確保、地方
消費税の充実、国の直轄事業負
担金の見直しなど、具体的な対
策を進めること。

3. 「地域活性化・雇用対策臨
時特例費」などに相当する額を
恒久的に地方財政計画・地方交
付税措置に取り入れ、自治体が
安心して雇用対策に取り組める
環境対策を行うことなど。

◎私学助成関係予算額の増額を
求める意見書

今年度山形県においては、公
立高校の経費を基にして算出し
た補助率を引き上げていたとい
たが、生徒一人当たりの単価に
直してみると、大きな問題を残
しました。一方保護者への直接
補助は国レベルで大きな前進が
ありましたが、それ以上の補助
については所得制限がついたた
め、多くの私立高校生には依然
として大きな額の負担が残って
います。山形県は昨年度2億円
あった保護者への補助総額を今
年度1億円にする大幅な減額を
行っています。しかし、「お金の
心配なく学校に通いたい」と

いう生徒たちの素直な願いに答
えるため、2011年度山形県
予算における私学助成関係予算
の増額を求めます。

◎過剰米対策に関する請願

平成21年度産米が、今年10月
には全国で40万トンの持ち越し
在庫の発生が懸念される事態と
なっています。このままでは、
21年度産米の古米処理経費の発
生や、22年度産米の米価下落、
そして、23年度産米の米生産数
量目標の大幅削減は必至と予想
されます。戸別所得補償モデル
対策交付金の補填を受けても、
農家経営は極めて厳しい状況に
なることが考えられ、今年度の
収穫を間近に控えた稲作農家に
とって、危機感が募るばかりで
す。稲作農家が安心して米作り
に取り組めるよう、次の項目を
要望します。

1. 緊急政府米買い入れの実施
について
2. 22年度産米以降の過剰米対
策の実施について。

◎肺炎球菌ワクチンへの公費助
成に関する意見書

肺炎は全死亡原因の中で依然
第4位を占めており、特に高齢
者にとって肺炎は深刻な問題で
あり、また肺炎による死亡率は
高齢者になるほど増加する傾向

が見られます。肺炎の予防が可
能なものとして、インフルエン
ザウイルスのワクチン並びに肺
炎球菌ワクチンがあります。

インフルエンザのワクチンは
高齢者に対し、2001年より
公的助成がなされています。そ
こで次のことを要望いたします。
1. 高齢者への肺炎球菌ワクチ
ン予防接種を予防接種法による
「定期接種」に位置づけ、国に
よる助成をおこなうこと。

◎保険でより良い歯科医療の実
現を求める意見書

政府の医療費・診療報酬抑制
策により、実質的な医療内容を
左右する歯科診療報酬は低く抑
えられ続けており、歯科医療の
効用を生かす歯周病の治療や入
れ歯の治療が保険で十分に行え
ず、患者の自己負担も増大し保
険で歯科治療を受けにくくなっ
ています。以上の趣旨から、国
及び政府において、医療費の総
枠を拡大し、患者負担を増加さ
せることなく、保険でより良い
歯科診療を実現するため、次の
事項の実現を強く要望します。
1. 患者の窓口負担を軽減する
こと。
2. 良質な歯科医療が保険で提
供できるよう診療報酬を改善す
ること。



私のひびき



森山 庄悦さん (押切)

◎ 創造の時代

世の中激変しつつある。今まで、慣れ親しんだ確実性は予期できないことや、まさかと思うことが次々とおきているのが日常だ。たとえば検察の証拠改ざんなどや、就職難、リストラなど、どこを見ても絶対安定的なものなどないように思う。日本型資本主義システムは崩壊したと言える。いままでの日本型資本主義システムとは、一体どんな特徴があるのかを明らかにしたい。

1、終身雇用と年功序列を機軸とした日本型雇用システム

2、メインバンクと金融的な結びつきを背景にした長期的な信用関係

3、ケインズの経済対策を主体とした政府主導の旺盛な公共投資

4、地域と政治家とのインフォーマルな関係によって決定される公共投資を通じた富の再配分システム

る公共投資を通じた富の再配分システム

これらシステムがうまく機能して、企業の安定成長や暮らしの安定が保たれていた。しかし、その安定した社会構造は、大幅に変化したのだ。何が原因で現在の様相になったかについては、いろいろ考えがあるかと思う。私は、長く続いてきた、世の中の制度が疲弊したのだと思う。いろいろなシステムの中で、皆自分の個を抑えて共同体の一員としてお互い協調して暮らしてきたのだが、今は個が大事で周囲にあまり気をくばることをしなくなったと思う。自由が幅を利かせ、世の中、自由になっていくことが多くなったのではないか。あらゆる抑制が外されることによる開放感の相対として世の中が不安定にならざるをえないのではないのか。

よく〇〇改革などと言われるが、もはや今まで繰り返してきたことに改良を加えるということが通じなくなってきたかと思う。まったく新しく元から創ることこそ重要なことではないのか。はじめから創り直さなければならぬ創造の時代にさしかかっているのではないかと思う。今まで常識とされてきたシステムは消滅してしまい、まったく新しいものが生まれてくる、そんな気がしてならない。

人のひびき

あじがき

- ◎北村山広域行政事務組合議会 須貝 孝 議員
- ◎北村山公立病院組合議会 菅原 光政 議員
- ◎尾花沢市大石田町環境衛生事業組合議会 伊藤 精一 議員

- ◎尾花沢市都市計画審議会委員 菅根 光雄 議員
 - 菅原 光政 議員
 - 鈴木 敏正 議員
 - 奥山 格 議員
 - 石塚ミツ子 議員
- 以上、新たに選任されました。

行政調査に来市された議会

7月22日	山口県岩國市議会 ・ 銀山温泉屋並保存条例について	1名
7月29日	東京都板橋区議会 自由民主党区議会議員団 ・ エコエリア基本構想について	14名
9月27日	栃木県那須町議会 産業建設観光常任委員会 ・ 銀山温泉の活性化について	5名

今年の夏は真夏日が50日以上も続く記録的な猛暑となり、スイカの作柄は良かったものの、米の作柄は今一つのもので、米の概算払い価格が下がり、戸別所得補償はされるものの、農業経営が厳しくなるのではないかが懸念されています。

9月定例会は、7月に当選した加藤新市長にとり市長としての初議会となり、本市の21年度各会計歳入歳出の決算審査が行われました。本市でも国の予算措置を受け、積極的な景気浮揚対策がとられています。市民生活は依然として厳しい状況が続いています。

市議会としても今年逝去された2名の議員の分まで、市民生活向上のため一層の努力をしていかなければならないと思わずにはいられません。

(奥山)

市議会だより編集委員

- ◎菅野 修一
- ◎伊藤 精一
- ◎石塚ミツ子
- ◎五十嵐佳満
- ◎菅原 光政
- ◎奥山 格
- ◎加藤 克彦
- ◎委員長
- ◎副委員長